



※★は大名行列の所作をする場所です

ナビをご利用の際は「あぐり夢くちない」で検索ください

当日は10:30~12:30まで、国道456号線(上記地図赤線部分)が交通規制により歩行者専用道路となります。この規制時間帯は区内を車両通行できませんので皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。駐車場内でのトラブルについて、当実行委員会では一切責任を負いません。

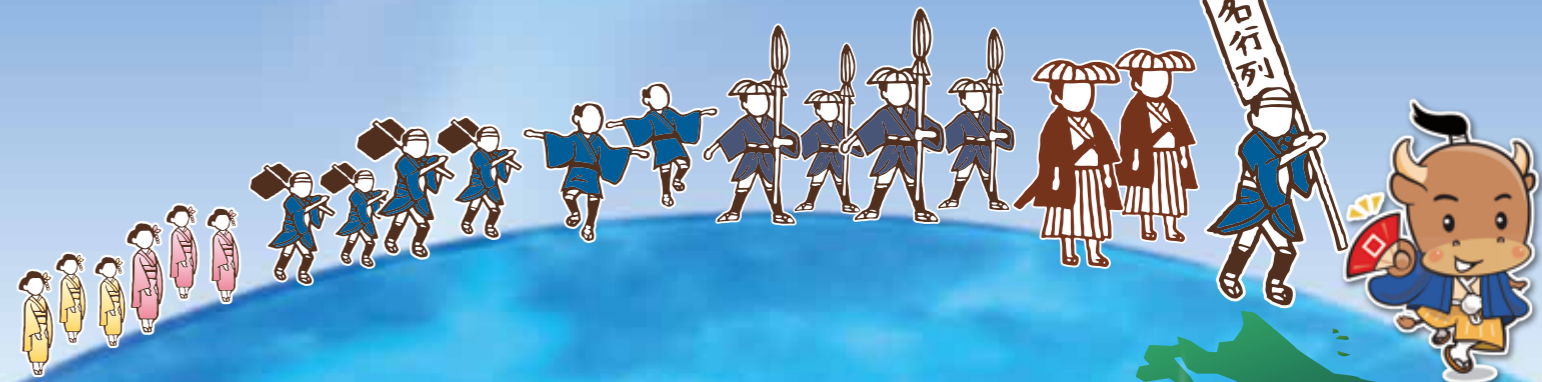
# 第13回 浮牛城まつり

8月17日(土) 雨天決行



大名行列殿様役  
釜石シーウェイブスRFC  
ゼネラルマネージャー  
ラグビーW杯2019アンバサダー  
桜庭 吉彦さん

～小さな町から 世界へトライ～



- 11:00～ 大名行列
- 12:40～ 鏡開き・もちまき
- 13:30～ ステージイベント
- 14:45～ 三界萬霊供養
- 15:30～ 民俗芸能公演
- 18:30～ 供養花火

主催 第13回浮牛城まつり実行委員会

【共催】口内町自治協議会、口内町行政長官会、口内町自治公民館連絡協議会、口内町民俗芸能保存会、あぐり夢くちない、NPOくちない、NPO法人芸術工房  
【後援】北上市、北上市教育委員会、北上観光コンベンション協会、岩手日報社、読売新聞盛岡支局、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、河北新報社、岩手日日新聞社、産経新聞盛岡支局、IBC岩手放送、テレビ岩手、北上ケーブルテレビ、NHK盛岡放送局、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、きたかみ E&Bエフエム

【連絡先】浮牛城まつり実行委員会事務局 TEL.0197-69-2001



大名行列殿様役



釜石シーウェイブスRFC  
ゼネラルマネージャー  
ラグビーW杯2019アンバサダー  
桜庭 吉彦さん

秋田工業高校では花園優勝を経験し、卒業後、新日本製鐵釜石製鉄所に入社。チームの顔として活躍し、釜石を支え続けた。1986年からは日本代表にも選ばれキャップ43を獲得。ワールドカップにも1987・1995・1999の3大会に出場した。2002に釜石シーウェイブスのヘッドコーチに就任。翌シーズンにはチームを日本選手権に導いた。現在は釜石シーウェイブスRFCのゼネラルマネージャーを務める。ラグビーワールドカップ2019アンバサダー。

口内町フォトコンテスト

主催：口内町自治協議会  
まつりの写真も大歓迎  
詳細は口内町のホームページをご覧ください

まつりの情報はここから

浮牛城まつり公式ホームページ

http://www.teleblo.jp/hugyuzyo/

浮牛城まつり公式facebook

https://www.facebook.com/hugyuzyo/



ごあいさつ

浮牛城まつり実行委員会  
委員長 昆野 淳一

第13回「浮牛城まつり」開催にあたりご支援、ご協力を頂きました行政機関、企業、各種団体、関係各位、そしてご来場頂きました皆様に、心より感謝申し上げます。

令和という新しい時代を迎え、アジア圏では初の開催となるラグビーワールドカップが9月20日に開幕します。それに合わせ「まつり」のテーマを「小さな町から世界へトライ」とし進めて参りました。今年の大名行列の殿様役に、ラグビーワールドカップ2019アンバサダーを務められています、釜石シーウェイブスRFCのゼネラルマネージャー桜庭吉彦様をお迎えして繰り広げる時代絵巻は、必見です。また、ステージイベントや芸能公演も盛り沢山です。

「浮牛城まつり」を通じて口内町の魅力を発信し、またラグビーワールドカップの機運醸成の一助になればと思います。最後まで、どうぞごゆっくりご覧下さい。

浮牛城まつり公式マスコットキャラクター「とのモ〜」



無料通話・メールアプリ「LINE(ライン)」で使える「とのモ〜」のLINEスタンプを販売しています！ぜひご家族やご友人同士で楽しくご利用ください。



スタンプは全40種類。とのモ〜の愛らしい表情と方言がトーク画面を楽しく上げます。

# 大名行列隊列

- 一、幟旗
- 二、法螺貝
- 三、小者払
- 四、御箱添
- 五、対御箱
- 六、対道具
- 七、中道具
- 八、小者払
- 九、御鉄砲
- 十、御建弓
- 十一、御毛槍
- 十二、御駕籠添衆
- 十三、殿
- 十四、御駕籠担
- 十五、御徒
- 十六、草履取
- 十七、御長柄
- 十八、姫
- 十九、腰元
- 二十、子供行列
- 二一、御供小走
- 二二、御手槍
- 二三、御箱
- 二四、家老
- 二五、口取
- 二六、若党
- 二七、押足軽

**口内大名行列について**  
 伊達一族の重臣であった中島監物利成は小野田(宮城県)から元禄8年に伊達藩の要書であった浮牛城へ道中御行列を組み着任されました。その後も領主が仙台を上下向する際に行列を組んで往来していました。口内大名行列は、慶応2年に仙台詰めの際に領主が領内視察のために口内入りをした際の様子を再現したものです。

## 一、上口内要害

伊達藩は、領内に上級家臣を配置し、館と知行地を与え小領主とし、地域を支配させました。口内は最北の藩境の地で、伊達藩と南部藩を結ぶ脇街道があり、軍事上の重要な地でした。口内町の中央にある上口内要害は、別名浮牛城(お館)で、城(館)を中心に小城下町をつくり、百人位の武士団が常住していました。

## 二、浮牛城の由縁

浮牛城の伝説では、「安倍貞任が築城の際、生き牛三頭を埋めて地鎮をしたことで命名された。」とあります。築城工事に先立ち、土地の神を祀る地鎮の儀式に、生きた牛をいけにえとして神に捧げた、立派な由縁です。浮城(浮き城)とは、内堀や外堀を持つ堅固な城のことで、水堀りで城(館)が浮かんだように見えたと言われています。

## 三、浮牛城の命名

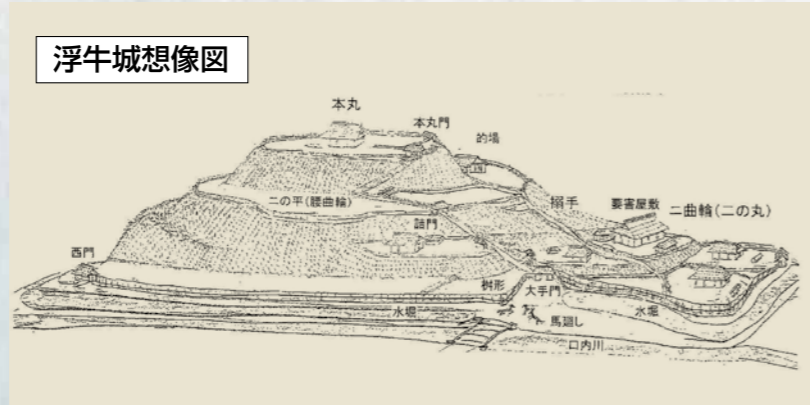
五代藩主伊達吉村(獅山)公が、享保十二年(1728)奥郡巡視で、口内に来訪し一泊しました。古絵図に「獅山様御成の項浮牛館と呼玉フ」とあります。由緒等から藩主の命名と思います。

## 四、浮牛城の大要

浮牛城(お館)は、孤立状の丘陵にあり高さ30m、東西200m、南北130mの平山城で、本丸・二の丸があり、周囲は水堀り・空堀・土罫・矢来をめぐらしていました。本丸には書院と明神社があり、二の丸には領主の御住居と土蔵と山王社、それに馬場と的場があり、大手門・西門・東門(土門)がありました。城下は、武士居住の小路(西・袋・向・四軒・中・八谷崎等)と町組(荒・飛)があり、それに御百姓で伝馬担当の新町に分けて城下町を形成していました。

# 浮牛城まつり タイムスケジュール

- 11:00 口内大名行列
- 12:40 鏡開き・もちまき
- 13:30 であえ～参楽舞台
- 13:30 まつりPR大使=優峰(とのモ～と一緒に！)
- 13:45 肥田葉子(アコーディオン奏者)
- 14:15 とのモ～That's楽団
- 14:45 三界萬霊供養
- 15:30 民俗芸能公演
- 15:30 口内保育園鬼剣舞 15:40 八谷崎太神楽
- 15:55 きらめき鬼剣舞 16:10 早池峰岳流綾内神楽
- 16:30 行山流口内鹿踊 16:45 黒森神楽(招待芸能)
- 17:15 口内明神太鼓 17:35 口内鬼剣舞
- 17:55 早池峰岳流浅間神楽
- 18:15 コラボ芸能 in 口内
- (口内鬼剣舞保存会 & 行山流口内鹿踊)
- 夕方 夢あかり・灯籠流し
- 18:30 フィナーレ 供養花火



## 11:00～ 口内大名行列

殿様役に釜石シーウェイブスRFCゼネラルマネージャー 桜庭吉彦さんを迎え、70名をこえる行列団が道中所作を行いながら町内を練り歩きます。華やかな姫や腰元、可愛らしい子供行列も必見。

※浮牛城址では「出迎いの儀式」や「もちまき」も行われます。



## 13:30～ であえ～参楽舞台 みんなが参加して楽しむ舞台です！



**まつりPR大使 優峰**  
 北上市出身、歌手・パーソナリティ・司会など様々な分野で活躍中。かつしかFM(78.9MHz)木曜日23:00-23:30「やっぱり歌謡曲♪deshow!」日曜日19:00-19:30「優峰のエポック」など。2014年7月浮牛城まつりPR大使に就任(本年3期目)



**肥田葉子:アコーディオン奏者**  
 東京中野生まれ。小4からアコーディオンを習う。東京工芸短期大学写真学科卒業後カメラマンの道に進み、20代後半からは都内を中心にアコーディオンの活動を行う。2017年、北上市臥牛に移住し、現代美術アーティスト原口典之氏の元でアートに触れながら写真と演奏活動に取り組んでいる。

**とのモ～That's楽団**  
 「であえ～参楽舞台」への出演と町の新たな魅力づくりを目的に、平成29年6月に発足した口内町民による手づくりの打楽器楽団。今年は、たくさんの音やリズムで溢れる世界を打楽器の音で表現します。聞いていて思わず踊りたくなったりするのが世界のリズム。打楽器の持つ多様な表現をお楽しみください。明神太鼓さんとの共演にも挑戦します！

**とのモ～That's楽団講師・打楽器演奏者 小原史織**  
 武蔵野音楽大学打楽器専攻を首席で卒業。さくらホールと前沢ふれあいセンターが主催する「いわての演奏家とつくる音楽会」第2期アーティストに選ばれ、学校等でのアウトリーチやホールで演奏会を開催。北上市大通りて打楽器・マリimba教室を主宰。フリーアナウンサーとしても活動中。打楽器を吉原すみれ氏に師事。

## 15:30～ 民俗芸能公演 (第35回口内町民俗芸能発表会)

○招待芸能団体 **【宮古市田老より】黒森神楽保存会**



黒森神楽は、正月になると黒森神社の神霊を移した「権現様」(獅子頭)を携えて、陸中海岸の集落を廻り、家々の庭先で権現舞を舞って悪魔祓いや火伏せの祈禱を行う。夜は宿となった民家の座敷に神楽幕を張り、夜神楽を演じて五穀豊穡・大漁成就や天下泰平などの祈禱の舞によって人々を楽しませ祝福をもたらしている。この巡行は旧盛岡藩の沿岸部を、宮古市山口から久慈市まで北上する「北廻り」と釜石市まで南下する「南廻り」に隔年で廻村し、近世初期からその範囲は変わっていない。平成18年3月国指定重要無形民俗文化財に指定。

- ◆ 口内保育園鬼剣舞
- ◆ きらめき鬼剣舞
- ◆ 口内明神太鼓  
 平成元年に奥州市水沢区の民俗舞踊サークルに指導を仰ぎ、地元の例大祭に飛び入り出演する。平成16年に団体名を「口内明神太鼓」と改名。地域の活性化、を目的に活動を続けている。
- ◆ 八谷崎太神楽  
 昭和20年初めに草刈場三代目から学んで始められた。その後しばらく途絶えていたが、平成2年に復活し、地域をあげて伝承活動に取り組んでいる。五穀豊穡、悪魔退散、火防・息災、延命などを祈るものである。

- ◆ 早池峰岳流浅間神楽  
 口内町飛部落、八坂神社の火防祭に権現舞を奉納しようと集落の若者有志が集まり、昭和56年から早池峰岳流浮田神楽の師匠を招き習う。翌年の火防祭から飛集落の各家々を火防と無病息災、五穀豊穡、悪魔調伏、あらゆる災いを退散等、祈禱し人々の安泰と幸せを願い、権現舞を舞っている。
- ◆ 行山流口内鹿踊  
 文化11年(1814年)に稲瀬町上門岡より口内町草刈場へ相伝。獅子頭に鹿角を付け頭にかぶり、背には長い簾(ササラ)を負い、激しく躍動しながら太鼓を打ち、自らが唄を歌って踊るダイナミックな芸能である。
- ◆ 早池峰嶽流綾内神楽  
 大正4年、集落に火災が多発したため、同村の水押(口内7区)から指導を受け火伏せ祈禱を始めた。その後秋葉講中が結成され、毎年1月17日に集落各戸の火伏せ祈禱をしている。
- ◆ 口内鬼剣舞  
 昭和43年に町内の有志青年が早苗振り大会の余興に特別参加した。これをきっかけに岩崎鬼剣舞に師事し、昭和61年に念仏剣舞の秘伝書を伝授される。現在は年間を通して稽古を行い伝承に努めている。
- ◆ コラボ芸能 in 口内  
 平成24年3月に行われた「いわてデスティネーションキャンペーン」のスタートアップミーティングにおいて、鬼剣舞と鹿踊が合同公演を行ったのが始まり。口内でしか見られない貴重なコラボ芸能となっている。